

食品新聞

発行所 食品新聞社
http://www.shokuhin.net/
大阪府北区南船場2-3-30
電話 06(6361)4972
東京 都中央区大塚1-1-8
電話 03(3552)3756-4031
名古屋 市中区丸の内2-10-11
電話 052(221)5391
支店 広島・福岡
©食品新聞社 2018
THE JAPAN FOOD NEWS
創設 1947年

自然の恵みを味に残り、 皆様にお届けしたい。

青のり

青のり 30減塩
味の旨み、食味の残りを残す。健康志向の消費者に合わせた減塩を実現。独自の製法で、旨み成分をしっかりと残す。健康志向の消費者に合わせた減塩を実現。独自の製法で、旨み成分をしっかりと残す。

漬物 HACCP手引書を作成 食品随一の完成度

漬物の業界団体である日本漬物協同組合連合会はこのほど、小規模事業者向け衛生管理の手引書「漬物製造におけるHACCPの考え方を取り入れた安全・安心なもののづくり」を完成させた。今後のHACCP制度化に向けて、小規模漬物事業者の衛生管理計画作成の負担を軽減し、すべての漬物製造事業者が実施可能なHACCPの考え方を盛り込んだ。

厚生省は16年3月にHACCPを17年1月まで実施を要請した。これを受け、長を設け、HACCPに沿った食品衛生管理の指導を行って、全漬物では17年度にHACCP手引書作成検査CPによる衛生管理に開始した。制度化に向け、業界向けの手引書作成を討議委員会(藤原一委員)は、「HACCPに基づ



■日清製粉グループ 長期ビジョンを策定

「日清製粉グループは、これをターンの未来。さらなる高度化・高度化へのコンパス(羅針盤)を策定する。10年後、20年後、新たな取り組みの社会構造変化を見据え、長期ビジョン「N-NI for the Future」を策定した。このビジョンは、グループが「N-NI」を軸とした経営計画「N-NI for the Future」を策定した。このビジョンは、グループが「N-NI」を軸とした経営計画「N-NI for the Future」を策定した。



明治ホールディングス 次期社長 川村 和夫氏

海外事業の展開加速 グローバルブランド推進

明治ホールディングス 国内に比べ展開が速い海外食品事業について、川村和夫社長が「明治グループは、海外市場の成長を捉え、グローバルブランドの推進を加速させていく」と述べた。川村社長は6月28日付で「2018年海外市場戦略」を発表した。川村社長は6月28日付で「2018年海外市場戦略」を発表した。



館林新ライン順調 ドレッシングなど生産

ブルドック ドレッシングなど生産。ブルドック ドレッシングなど生産。ブルドック ドレッシングなど生産。ブルドック ドレッシングなど生産。ブルドック ドレッシングなど生産。

きょうの主な内容

- 販販、CS展覧会
- (総合流通特集)A11(5/7面)
- 第55回「きょうの主な内容」(九州版 8面)

リニューアル!

アヲ!

味の旨み、食味の残りを残す。健康志向の消費者に合わせた減塩を実現。独自の製法で、旨み成分をしっかりと残す。

現状に合わせて修正。管理計画の記載例を掲げた各漬物ジャンルの業。また、一般衛生管理界から意見を吸い上げるの実施記録表は現場での取り組み、7月実施を避けるため、10月以降の取り組み、手引書が月ごとのチェック項目を掲載の取組が現場で使用できることを確認した。

工場は1008年4月に竣工し、今年4月20日を迎えた。06年4月の第二期工事竣工を経て、18年1月に約28億円を投じて、新生産設備を導入した第一期工事が完了。新生産ラインはラスト稼働後、90日に増加した。

逆光線

今年度、日清製粉グループは、進化する新容器も、交際関係の構築を目的として、1500名以上の社員を、環境大を代表企業と見なす。環境大の代表企業と見なす。環境大の代表企業と見なす。

健康と信頼をお届けする

日清製粉グループ

おなかすいたね。

日清製粉グループ オリジナルキャラクター「ゴニヤラ」と「子ゴニヤラ」

http://www.nisshin.com/